

2019年6月21日

報道関係者各位

【取材のご案内】

高齢者・障害者も楽しめるユニバーサルツーリズム企画に挑戦 東京オリ・パラにらみ、近畿日本ツーリストと連携授業

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の1年後【※1】の開催をにらみ、国内外の高齢者や障害者が安心して競技会場に会場できる「ユニバーサルツーリズム」の実現が急がれています。実践女子大学（東京都日野市、学長：城島栄一郎）は、旅行会社の株式会社近畿日本ツーリスト首都圏（本社：東京都新宿区 社長：田ヶ原聡）【※2】と連携して、高齢者や障害者も気兼ねなく楽しめる渋谷観光ツアーのプランニングに挑戦します。近畿日本ツーリストとの産学連携は正規授業（2単位取得）として行い、今年度は前年度に続く2回目のチャレンジ【※3】。女子大生が考えたツアー企画のアイデアについて、近畿日本ツーリストが20年以上の経験と知見を踏まえてアドバイスしていきます。

講座名はキャリア科目「オープン講座 a」（金曜日2限、10：45～12：15、渋谷キャンパス5階501教室で開講）。実践女子大学文学部国文学科の深澤晶久教授【※4】が担当し、近畿日本ツーリストとの産学連携授業として前年度の2018年度に初めて講座（正規授業）化されました。前期15回の授業のうち、学生の最終プレゼンテーションを6月21日（金）と6月28日（金）の2週に分けて行います。

記

日時：2019年6月28日 金曜日2限 10：45～12：15（受付開始10：30）
（プレゼン前半の21日の授業も公開しました。まとめ・講評は28日に行います）

場所：実践女子大学渋谷キャンパス 5階501号教室
〒150-8538 東京都渋谷区東1-1-49

出席者：

深澤晶久教授 実践女子大学文学部国文学科
橘清志氏 (株)近畿日本ツーリスト首都圏千葉支店副支店長
淵山知弘氏 KNT-CTホールディングス(株)地域交流部課長

【本件の内容・背景】

ユニバーサルツーリズムは、すべての人が楽しめるようにつくられた旅行であり、高齢や障害の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく楽しめるように参加できる旅行を目指しています。

実践女子大学の渋谷キャンパス（東京都渋谷区東）のある渋谷区は、オリンピック（2020年7月24日～8月9日）とパラリンピック（同8月25日～9月6日）の大会期間中、東京体育館（同区千駄ヶ谷）、国立代々木競技場（同神南）を会場として卓球やハンドボール、バドミントン、車いすラグビーなどの競技が行われる予定です。加えて、双方の大会のメイン会場で建設中の新国立競技場（新宿区霞ヶ丘町）とも渋谷区は隣接。この結果、大会を契機として、渋谷区に国内外から多くの高齢者や障害者が来訪することが予想されています。

（次面に続く↓）

《渋谷区内のオリンピック・パラリンピック開催種目競技会場》

競技会場	住所	オリンピック	パラリンピック
東京体育館	渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1	卓球	卓球
国立代々木競技場	渋谷区神南 2-1-1	ハンドボール	バドミントン 車いすラグビー

授業は、渋谷キャンパスの文学部と人間社会学部、日野キャンパス（東京都日野市大坂上）の生活科学部の3学部ならびに短期大学部の学生（全学年が対象）が受講可能で、19年度は71人（前年度は126人）が受講。一方、近畿日本ツーリストからは課題として「高齢者・障害者も楽しめる渋谷！観光モデルコース」が提示されました。これを受け、学生は5～6人で1チームをつくり、計14チームが区内の観光スポットを巡りながら、▽バリアフリー（段差なし）▽多目的トイレ▽車いすや杖の使いやすさなどのユニバーサルデザインの現況を情報収集、ツアー企画のルートや訪問先を選定しました。

《ツアー企画の課題》

2週に分けて行う学生の最終プレゼンテーション終了を受け、28日には学生が発表したツアー企画案を審査し、14チームから1位「最優秀賞」、2位「優秀賞」、3位「敢闘賞」を決定します。学生のプレゼンに対する講評は、(株)近畿日本ツーリスト首都圏の千葉支店副支店長である橋清志氏、KNT-CTホールディングス株式会社の地域交流部課長である淵山知弘氏が務めます。

高齢者・障害者も楽しめる渋谷！
観光モデルコース
場所：渋谷エリア（周辺含む）
参加者：10～15名
行程：日帰り 10～16時位
対象：①高齢で車いすや杖を利用している方
②視覚障害者

担当の深澤晶久教授は、授業の狙いについて「観光産業・旅行業界のビジネスに関わる人材として必要な幅広い知識・技能を学ぶとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックの大会コンセプトである『多様性（ダイバーシティ）と受容』について理解を深めるきっかけとしてほしい」とコメントしています。

高齢者や障害者が気兼ねなく旅行できるユニバーサルツーリズムは、日本の観光立国を実現する上で避けて通れない重要課題であり、かねて観光庁を中心に環境整備が行われてきました。とりわけ東京オリンピック・パラリンピック競技大会の2020年開催が2013年9月に決定以降は、国内の高齢者や障害者に加えて外国人訪日客のユニバーサルデザイン対応が急務となっており、2014年度以降①地域の受け入れ体制の強化②ユニバーサル旅行商品の開発③ユニバーサルツーリズムに係るマーケティングデータの整備—を中心に対応が強化されています。

今回の近畿日本ツーリストとの連携授業は、内外から多くの高齢者・障害者の来訪が予想される渋谷区について、すべての人が楽しめるような内容や、高齢や障害等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できるツアーをプランニングします。

- ※1 東京2020オリンピックの開会式は、2020年7月24日（金）です。
- ※2 株式会社近畿日本ツーリスト首都圏は、KNT-CTホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区。社長：米田昭正）のグループ会社です。
- ※3 2018年度は、25チームのうち予選を通過した12チームが、6月15日（金）と22日（金）の2週に分けて最終プレゼンテーションを行いました。
- ※4 深澤晶久教授は、2015年5月から東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の「文化教育委員」に就任。

■プレスリリースおよび本件の取材に関するお問合せ

実践女子学園 企画広報部

電話(042) 585-8804 E-mail : koho-ml@jissen.ac.jp

公式HP : <http://www.jissen.ac.jp/>